

永渕ふみたか通信



佐賀市議会
自民政新会

第16号

令和3年1月6日発行
発行者/永渕 ふみたか



明けましておめでとうございます 🌸 🌸 🌸

佐賀市 11 月定例会

11月定例会は、11月27日に開会し、12月18日に閉会しました。補正予算7件、条例7件、その他18件、合計32議案を可決しました。また、その他に2件の報告がありました。今回の補正予算総額は、約10億2,100万円で補正後の予算総額は、約1,315億9,100万円となりました。

令和2年度 11 月補正予算 主な事業

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連

●公共交通運行維持特別支援事業 1億8,060万円 企画調整部

市内に本社又は営業所がある路線バス又はタクシーを運行している事業者に対する補助経費

●公民館予約システム導入事業 986万円 地域振興部

公民館の利用に係る手続きをオンライン化するための環境整備に要する経費(繰越明許費)

■通常分

●豪雨災害復旧経費 3億5,934万円 災害関連

7月豪雨等に係る災害復旧経費

●デジタル教科書更新事業 1,940万円 教育部

中学校用教科書の全面改訂に伴う電子黒板用デジタル教科書更新に要する経費



一般質問 大人のひきこもりの現状と対策について

質問 ①ひきこもっている大人の市民の人数を教えてほしい。

②現在の相談支援体制は？

③*社会福祉法の一部改正における重層的支援体制整備事業がもたらす事業の変化とは？

④大人のひきこもり問題解決のため先進的な事業の導入の可能性は？

答弁 ①佐賀市における大人でひきこもりをしている推計人数は約1,000人です。

②現在、NPOによる伴走型支援、社会福祉協議会による世帯全体を支援する活動、福祉まるごと相談窓口による関係機関と支援の調整を図るネットワーク事業の3つの相談支援体制があります。

③この法律の一部改正により様々な事業を一体的に行うことができるようになる。

④先進自治体を参考にして重層的な相談支援体制事業を展開していきたい。

ここがポイント！

年老いた80代の親とその引きこもる50代の子どもを問題視した8050(はちまるごーまる)問題は、もはや社会的に誰もが知る問題となりました。これは内閣府が平成31年3月に示した調査結果、40歳から64歳までの中高年のひきこもりが、推計で61万人に上り、若年層のひきこもりよりも多いということが社会的に認知されたことが大きかったのではないかと思います。大人のひきこもり問題というのは、家族や経済の問題、精神を含む障がいの問題、他にも就労、そして介護と多くの複雑な問題がそこに存在しています。これを解決するには、まず役所の縦割りの弊害をなくして、役人と市民ではなく、問題を解決してあげたい人と問題を解決してほしい人という人間関係を元に解決を試みる必要があると思います。事業においては、例えば、ひきこもり家族会などを情報交換の場として設立することも問題解決に向けて必要な試みだと感じますし、他にも、ひきこもりサポーターや、ひきこもる人(ひと)の困り事や心配事を頼りになる友人知人のように解決に導く「交流支援者」を地域社会で育てていくことも重要かもしれません。

他自治体の多くの先進的な事業を参考にいただき、今後、もっと顕在化すると思われる大人のひきこもり問題解決に、これからも佐賀市には力を尽くしていただきたいと思います。



質問する私



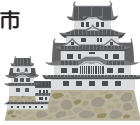
答弁する秀島市長

視察報告

昨年11月は、万全のコロナ対策をおこなった上で、多くの先進地視察をおこないました。

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

11月5日(木) 兵庫県姫路市
大手前通り再整備事業について



MEMO

「人口減少社会ではハード整備が重要ではない。その後のソフト整備がとても重要だ。」と姫路市の担当の方はお話しされました。この考え方には学ぶ点が大いにあったと感じています。

文教福祉委員会

11月12日(木) 宮崎県宮崎市
「障がい特性に応じた
コミュニケーション手段の
利用促進に関する条例」について



MEMO

市の条例を県の条例と差別化するため、課題をさらに深掘りし、条例の内容を県より拡大して条例制定に至っている点や、条例通称を「心つなぐ条例」としている点など、障がい者理解への推進力は、当市にも反映させたいと感じました。

自民政新会

11月20日(金) 青森県八戸市
八戸ブックセンターに
ついて

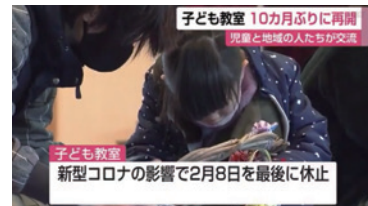


MEMO

八戸ブックセンターには、私は興味を持っていて、現在の佐賀駅周辺に本のある暮らしがない(書店がない)現状を危惧していましたので、「八戸スタイル」を佐賀市に置き換えられる施策がないのか視察を参考に今後模索してみます。

編集後記

皆さま明けましておめでとうございます。令和3年も新型コロナウイルスの影響の続く年となりそうですが、お互い良い年にしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。さて、昨年12月に、コロナ禍のため休止していた校区の地域子ども教室を10カ月ぶりに再開しました。毎月二回、土曜日の午前中に地域の人々と子どもたちとの交流を深めるため開催をしていましたが、コロナ禍の影響を受け、昨年2月より開催を中止していました。この10カ月の間、対策マニュアルの作成や、学校と、保護者会(PTA)との協議を重ね、消毒や換気などの感染対策の徹底、密にならないやり方の模索をし、なんとか、再開をすることができました。ここに至るまで学校関係者のご理解と保護者の皆様の英断、再始動を信じて準備を続けた地域役員の尽力がありました。子どもたちの地域の居場所の再開(再会)をあきらめなかった関係者の皆様に感謝いたします。なお開催の是非に関しては、時期尚早とする厳しいご意見も頂戴しております。今後も真摯に関係者の皆様との話し合いを続け、コロナ禍の中でも、子どもの居場所を守り続けていく努力を今後も続けてまいります。



サガテレビニュースより
「コロナで休止の子ども教室
10カ月ぶりに再開」



こちらのニュースは
動画サイトでご覧ください。

永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23

TEL.0952-38-2323

FAX.0952-33-5176

インターネットで「永渕ふみたか」と検索!!
活動の日々をブログにて発信しています。

お気軽にご相談ください。



BLOG



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(44歳)
- 佐賀北高等学校卒(30期)
- 平成29年10月佐賀市議選挙当選(2期目)
- 議会運営委員会 所属
- 佐賀市議会 自民党 自民政新会所属
- 文教福祉委員会(副委員長) 所属
- 佐賀駅周辺整備調査特別委員会(副委員長) 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 市民総参加子ども育成運動推進本部委員
- 若楠校区子ども育成部会 部長
- 若楠校区子ども会会長
- 若楠校区地域子ども教室会長

『永渕ふみたかホームページ』 もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

↑ <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。